

分野：水質

## 「吹上環境調査隊」

環境アドバイザー

川島 秀男

対象 鴻巣市立吹上小学校 4 年（89 人）

所要時間  2時間 10分

場所 元荒川鎌塚地区

実施時期 令和3 年6 月11日

## 概要

環境学習として元荒川の水質調査と生きもの観察を行い、子供たちが生活している身近な生活環境の水質について体験してもらった。

プログラムの  
ねらい

元荒川の水質調査を行い、川の水の透視度、pHおよび COD を各自実測体験してもらった。

## プログラムの内容

## 1 元荒川の現地水質調査 (20分)

吹上駅前の新宿橋から水鳥橋までの元荒川の水質調査と生き物調査を実施した。

## 2 元荒川の現地生き物調査 (20分)

金ブナの稚魚やメダカなどのめずらしい生き物が観察できた！

## 3 まとめ (20分)

教室に戻り、パワーポイントによる水質調査と生きもの観察のまとめを説明した。  
特に、鴻巣市では、荒川堤防の上にコウノトリの飼育施設を新設していることを強調した。  
コウノトリの餌として、ドジョウやカエルなどについて説明した。

## 受講者の反応

自分たちの身近な元荒川の水質と生きものについて理解を深めることができたと思います。  
当初、コロナ禍での環境学習は消極的でしたが、実施後子供たちからお礼の手紙をいただき、  
子供たちの元気な姿を見届けてきてよかったと思います。

# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



分野：水質

## 「吹上環境調査隊」

環境アドバイザー

雨宮昌夫

対象 鴻巣市立吹上小学校 4 年（89 人）

所要時間  2時間 10分

場所 元荒川鎌塚地区

実施時期 令和3 年6 月11日

## 概要

環境学習として元荒川の水質調査と生きもの観察を行い、子供たちが生活している身近な生活環境の水質について体験してもらった。

プログラムの  
ねらい

元荒川の大幹線排水路の水質調査を行い、川の水の透視度、pHおよび COD を各自実測体験し透視度、pH、COD がどうして変化するか生き物が住みよい水質を保つためにはどうすればよいかを学ぶ。

## プログラムの内容

## 1 元荒川の現地水質調査（3 班に分かれる）（25 分）

吹上駅前の新宿橋から水鳥橋までの元荒川の水質調査と生き物調査を実施した。

## 2 元荒川の現地生き物調査（3 班に分かれる）（15 分）

アメンボやメダカなどの生き物が観察できた！  
COD の数値が生き物の種類が違ってくことを知る。

## 3 まとめ（全員）（20 分）

教室に戻り、パワーポイントによる水質調査と生きもの観察のまとめを説明した。  
特に、鴻巣市では、荒川堤防の上にコウノトリの飼育施設を新設していることを強調した。  
コウノトリの餌として、ドジョウやカエルなどについて説明した。

## 受講者の反応

自分たちの身近な元荒川の水質と生きものについて理解を深めることができたと思います。  
このような機会が少ない子供達には楽しい時間だったようである。

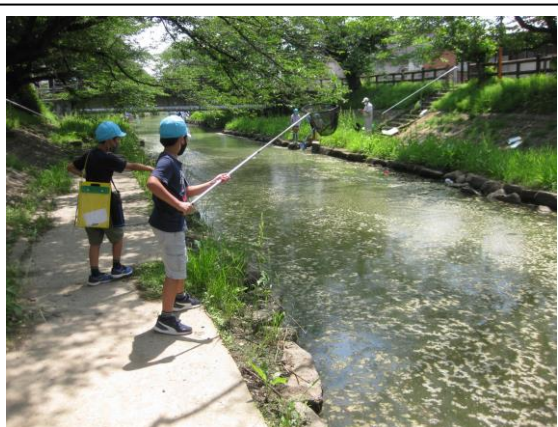
# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



上下とも元荒川生き物探し



校庭集合



透視度計をのぞく



まとめ全員で

分野：水質・川の再生活動

## (吹上環境調査隊)

環境アドバイザー

吉田 征人 他3名

対象 鴻巣市立吹上小学校 4年(89人)

所要時間



2時間30分

場所 鴻巣市吹上本町2(元荒川)

実施時期

令和3年6月11日

## 概要

8:30 集合、自己紹介

- ①現地：元荒川の水質しらべ、当日の気象、気温、水温、川の水量、水の色、臭気、②サンプリング：透視度・PH・CODなどの測定、③生き物・自然観察  
④教室で、「まとめ」報告

プログラムの  
ねらい

この「水質しらべと生き物自然観察」は、総合学習の一環として子供たちの課外活動を支援し、川の水質や川の生き物・自然環境の大切さを学ぶことを目指して、このプログラムを作成しました。

## プログラムの内容

## 1 集合・自己紹介(8:30分~15分)

参加生徒：89名

## 2 元荒川へ移動(往復40分)

## 3 元荒川の水質しらべ(40分)

調査の項目：天気・気温・水温・川の水の流量・水の色・臭気・透視度測定・PH測定・COD測定

## 4 元荒川の生きもの自然観察(20分)

調査の項目：小鳥・昆虫・魚・水生生物

## 5 教室にてまとめ(25分)

調査の結果を報告してもらおう。

## 6 エコライフDAYと地球温暖化のはなし(10分)

## 受講者の反応

教室の授業のみでなく、課外授業への関心は非常に高い傾向がみられた。

学校から約500m付近にある元荒川ですが、子供たちは余り川での遊びをしていない様子でした。

各班(22名)に分かれ、始めに水質調査の概要を説明した。川の水質しらべでは、パックテストによる調べや周りの自然観察では蝶やトンボなど小魚・アメンボーなどに触れ、生き生きと行動していました。

また、教室に帰って、はきはきと調べたことを発表してくれました。

# 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要





分野：水質

## 「吹上環境調査隊」

環境アドバイザー

茂木 幸蔵

対象 鴻巣市立吹上小学校 4 年（89 人）

所要時間  2時間 10分

場所 元荒川鎌塚地区

実施時期 令和3 年6 月11日

## 概要

環境学習として元荒川の水質調査と生きもの観察を行い、子供たちが生活している身近な生活環境の水質について体験してもらった。

プログラムの  
ねらい

元荒川の水質調査を行い、川の水の透視度、pHおよび COD を各自実測体験してもらった。

## プログラムの内容

## 1 元荒川の現地水質調査 (20分) 各グループ

吹上駅前の新宿橋から水鳥橋までの元荒川の水質調査と生き物調査を実施した。

- ・川の流れ、臭い、色などをまず観察した。
- ・一人ひとりに試薬紙（pH、COD）を川の水につけて時間を待ち変色を観る。
- ・シリンダーに川の水の入れて透視度から汚れを調べた。

## 2 元荒川の現地生き物調査 (20分) 各グループ

金ブナの稚魚やメダカなどのめずらしい生き物が観察できた！

水草も集めていていろいろな生きものが川にある、いることを知った。

## 3 まとめ (20分) 川島氏からお話し

教室に戻り、パワーポイントによる水質調査と生きもの観察のまとめを説明した。

特に、鴻巣市では、荒川堤防の上にコウノトリの飼育施設を新設していることを強調した。コウノトリの餌として、ドジョウやカエルなどについて説明した。

## 受講者の反応

20名位のグループに分かれて元荒川の生きもの、水質検査に実際に触れての体験に児童たちは驚きと楽しみが混ざった感じであった。水質検査では試薬紙の反応に興味を示し、生きものを魚捕り網で水中を探り小魚が入っているのを見つけた時には歓声があがった。自然環境を体験することは大切なことだと思った。



